

「くまの木」ヒトとムシの楽園プロジェクト

会報ムシプロ22号

2019年2月



幸せを呼ぶ青い鳥 ルリビタキ

目次

1. 2019年活動日程 2
2. ムシプロだより 3
3. 自然の楽しみ方（冬・早春） 5
4. 事務局より 7
- 今月の表紙 7

1. 2019年活動日程

2019年の活動日程が、確定しました。2019年は、3回行います。

うち2回（6月、7月）は宿泊を伴う活動になります。

今年もフィールド整備に汗を流し、日本の自然を愉しみましょう。

<取り組み>

- ① スタッフ体験を実施します。各回の活動案内の時に募集します。
- ② フィールドの整備（草取り等）の時間を多くとります。
※雑草が勢いを増す6月、7月に宿泊をして作業の割合を多くしました。
- ③ 7月に夏の生き物観察を「民宿 庄屋」の雑木林で行います。また、6月には、雑木林の下草刈りも実施します。
（ミヤマクワガタを復活させましょう！）

<活動の日程及び活動の概要>

活動日	作業	観察・講習	募集人数
6月8日(土)～9日(日) (くまの木泊)	・バタフライガーデンの整備(草取り) ・雑木林の整備(庄屋)	・モリアオガエル、水辺の生き物	20名
7月13日(土)～14日(日) (庄屋泊)	・バタフライガーデンの整備(花がらとり)	雑木林のムシ(庄屋)	15名
9月28日(土)	・菜の花、レンゲの種まき ・雑木林の整備(庄屋) ※間伐を実施	・赤トンボ、ビオトープの生き物 ・日本ミツバチの蜂蜜採集	20名

※活動案内は、活動日の一か月前に行います。

民宿 庄屋の様子



古民家を改装した宿泊棟



コナラを中心とした雑木林



日本ミツバチの巣箱



※民宿 庄屋は、くまの木小学校から、車で約5分のところにあります。

2. ムシプロだより

熊谷 義昭

冬に活動するシャクガ（シャクトリムシの成虫）＝フユシャクです。

羽化した成虫は、食物をとらずに活動します。メスには翅がなく、オスはメスを探すために飛び回ります。

シロオビフユシャク



ナミスジフユナミシャク



シモフリトゲエダシャク



「ルリビタキ」の水浴びの様子です。
春一番か！と思われた風が強かった翌日に撮影しました。
鳥の気持ちになって吹き出しをつけてみました。



風のおかげで、体がほこりっぽい
な…
自慢の羽が台無しだよ。
水浴びをして綺麗にしなくちゃ！



今日は、曇りで陽射しが無い…
水が冷たそうだな……
でも、ここは、勇気を出して水に
入ろう！



ウオオオオオオオ～！



綺麗になったかな？
水面に自分の体を写して確かめ
よう～。
よし！綺麗になった。



3. 自然の楽しみ方（冬・早春）

● 雪を愉しむ

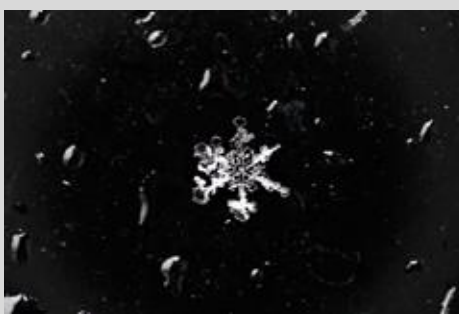
2月11日（月）関東地方に雪が降った。関東では冬型の気圧配置（西高東低）が弱まり、低気圧が太平洋沿岸付近を通る条件の時に雪が降る。ひと冬に数度しかない機会を逃すことなく愉しみたい。

<雪の結晶>

雪の結晶は、上空の温度・湿度によって形状が変化することから「雪は、天から送られた手紙である。」と言われている。

雪の結晶は肉眼でも見るができるが、可能であれば「マクロレンズ」を付けたカメラ（スマホのカメラでも可能）で撮影してみよう！

雪の結晶の画像、六角形を基本として結晶の枝が伸びているのがわかる。白かった結晶は、透明になり、やがて水滴に変わる。とても神秘的で時間を忘れて見入ってしまう。気が付くと頭に雪が積もっていた（笑）



＜動物の足跡＞

草に覆われている地面では、動物の足跡は殆ど残らないが、雪が積もったことで動物の足跡が、ハッキリと残る。この足跡からどんな動物がどのように通ったのか推測できる。

いつも通る雑木林の道に雪が積もった。

雪の上には、たくさんの生き物たちの足跡がついていた。「こんなに、たくさんの生き物がこの道を通っているのか・・・」と思った。

足跡から厳しい冬を生き抜く生き物たちの力強さを感じた。



イタチの足跡
5本の爪痕が特徴



タヌキの足跡
4本の爪痕ともう一つの足跡がすぐ横にあるのが特徴、

スキー・スノーボードでスキー場に行くことがあったら、リフトに乗りながら動物の足跡を探してみよう！

ウサギの足跡、これを追跡するキツネの足跡、突然向きが変わったウサギの足跡などが見つかるはずだ。足跡から彼らの行動を想像するのも楽しい。

(写真・文 西野 孝法)

4. 事務局より

会報の「表紙」と「自然の愉しみ方」で紹介した画像をイメージゲートウェイに登録しています。Wordに貼りつけてある画像より綺麗です、ご覧ください。アドレスは以下のとおりです。パスワードは、必要ありません。

<https://opa.cig2.imagegateway.net/s/cp/DMCYuTBGLSE>

画像はダウンロードできます。

2019年3月1日発行

発行： くまの木ヒトとムシの楽園プロジェクト

編集責任者： 西野 孝法

〒262-0026 千葉県 千葉市 花見川区瑞穂3-3-26

TEL: 090-9327-5606

Eメール：harukan@ac.auone-net.jp

今月の表紙 ルリビタキ



ルリビタキは、冬になると山から里に下りてくる「国内を旅する鳥」である。会報を読んでいただいている皆さんに幸せを届けたくて去年の2月ごろから追っていた。この思いが通じたのか11月ごろから出会う回数が増え、今回の表紙及び水浴びをする姿を紹介することが出来た。全て千葉県千葉市での撮影である。

山に旅立つ前にもう一度会っておきたい。

(写真・文 西野 孝法)

日本では、他に青い鳥は「オオルリ」「コルリ」の2種類が見られる。

ルリビタキと合わせて「ルリ3鳥」と呼ばれている。

夏になったら山に行ったら彼らと会いたいと思う。



オオルリ/撮影：吉田義秀